

IUJ むすびばカレッジ

Season 4 — 第33回 —



テーマ

JICA海外協力隊員、ウガンダ派遣 ～体育・野球指導を通じた学びと経験～

日時

2026年 3月21日(土)

15:00-16:30

会場

南魚沼市事業創発拠点 MUSUBI-BA
(JR上越線六日町駅 東口1階)

定員

50名

対象

関心のある方はどなたでも歓迎
(中高生、大学生、社会人など)

申込方法

事前登録制(必須)

QRコードより申込ページにアクセスし
入力フォームからお申込みください。



受付締切: 3月18日(水)

JICA海外協力隊について、ニュースやテレビ番組などで耳にしたことがある方も多いのではないのでしょうか。これまでに累計約57,000人が参加し、職種は170種類に及びます。本講演では、講師が2018年から2020年にかけて、アフリカ「ウガンダ」で体育教師として活動した経験をもとに、現地での学びや気づき、忘れられないエピソードを紹介します。あわせて、帰国後に直面した葛藤や新たな挑戦、そして現在所属する国際社会起業家プログラムでの学びについてもお話します。ここでしか聞くことのできない実体験を通じて、国際協力の現場を身近に感じる一助となれば幸いです。

網代 健人

国際大学 国際経営学研究科 国際社会起業家プログラム在籍

日本大学文理学部体育学科卒業。新卒でJICA海外協力隊(体育)としてウガンダに派遣され、中高等学校でのスポーツ指導に従事。その後、民間企業2社を経て再びウガンダへ渡り、JICAウガンダ事務所、NGO-JICAジャパンデスクにて勤務。約3年間のウガンダ駐在を通じて、現地でコーヒー農家とのビジネスの可能性に触れる。帰国後、現場での経験を形にするため、国際協力と経営学を学ぶべく国際大学に入学。



主催
問い合わせ



国際大学むすびばカレッジ事務局

025-779-1486 presoff@iuj.ac.jp



共催: 南魚沼市

★広報のため、会場の様子を撮影させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。